

『住民の顔が見える広報』を目指し、地域おこし協力隊が
まちに飛び出て市民の皆さんをクローズアップ!!

第6回目は、赤平火太鼓保存会の指導者、酒井 利沙さん。
赤平市内の企業に勤務しながら、昨年より火太鼓卒業生として
子どもたちに太鼓を指導している酒井さん。溢れんばかりの笑
顔とともに、太鼓に懸ける熱い想いを伺いました!



私が私らしくいられる時間。

赤平火太鼓保存会

酒井 利沙



とにかく太鼓を叩けることが
本当に楽しくて大好きだったか
らだと思えます。
いつも、あまり物事に執着し
ない方ですが、太鼓だけは、『上
達したいー習い続けたいー』と負
けず嫌いになつて続けている自分がい
ました。頑張つて続けられたこと
が、今の私にとってひとつの自信
になつていようような気がします。



太鼓を続けられた
理由は?

理由は?



学生時代の
思い出は?

思い出は?



これからの
抱負をどうぞ!

抱負をどうぞ!

少しずつ太鼓の指導者の数が
減つていくなかで、次の世代の
子どもたちに火太鼓を継承して
いくことが、いまの私にできる
恩返しだと考えています。今後
も自分の技術を磨きながら、少
しでも火太鼓の力になれるよう
に、頑張りたいと思います。



指導者になつて
変わったことは?

変わったことは?

昨年、高校を卒業してから指
導者の立場となり、これまでと
は違った形で太鼓と向き合うよ
うになりました。
今は、指導する子どもたちの
課題を、いかに分かりやすく伝
えられるかを常に意識して指導
しています。指導していくなか
で難しいと感じることもありま
すが、練習するたびに上達して
いく子どもたちの演奏を聴いて
いると、感慨深いですし、指導し
ていて良かったなと感じますね。



現在も、子どもたちとともに演
奏する酒井さんは、一音一音を
丁寧に全力で演奏している。



編集後記

地域おこし協力隊 まちの情報発信部門
愛知県出身 野口 暢子



あかびらに移住して半年が経ちま
した。あかびらの秋に魅了されてい
るうちに、冬がすぐそこまで来てい
ます。氷点下での生活は想像が付き
ませんが、今から防寒対策をしっか
りして、冬を全力で楽しみます!!



子どもたちには、技術以上に挨拶
などの礼儀を身に付けるよう
な指導を心がけているそう。